

地域連携通信

2024.01

地域医療連携センター
TEL 052-851-5511(代表)
TEL 052-858-7131(直通)

すべての手術が“ロボット100%時代”へ

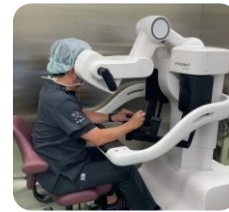
おがわ りょう
消化器外科学分野 講師 小川了



2018年3月に導入しましたロボット手術は、上部消化管領域、下部消化管領域、肝胆膵領域とすべての領域で安全に導入し、勢いを伸ばして参りました。その結果、消化器癌を患った患者さんに質の高い、身体に優しい手術を提供してこられたかと思えます。高難度症例に対しても、大学病院として、全国のトップリーダーとしてあきらめない、最善と考える医療に積極的に取り組んでいます。

上部消化管グループ

当院に手術ロボットが導入された直後から 胃癌の手術は100%ロボット化しておりましたが、2023年から当院3台目の手術支援ロボット Hinotori が導入されたため、食道癌手術も100%ロボット支援で行うことが出来るようになりました。ロボット支援手術は細かな操作ができるため、患者さんにとって多くのメリットがあります。



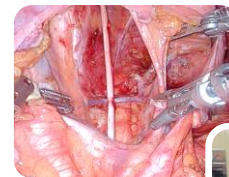
「Hinotori」による
食道手術

最新ロボット
「Hinotori」の操作



下部消化管グループ

当グループではこれまで 300例を超えるロボット支援大腸癌手術を行ってまいりましたが、これは 全国でもトップクラスの症例数になります。骨盤内臓全摘術含め、すべての手術をロボット適応としており、国産初の手術支援ロボットである hinotori の見学施設にも指定されております。



300例
達成記念

ロボットによる
側方郭清



肝胆膵グループ

膵頭十二指腸切除術や系統的肝切除術等の高難度手術も積極的にロボット手術で行っております。血行再建が必要な症例など保険適応外の術式もあるため100%とはいきませんが、年々着実に症例数を増やしています。従来、大きく開腹して行っていた手術を低侵襲で行うことで、患者さんの早期回復、早期退院に繋がっています。



ロボットによる
肝切除術

ロボットによる
膵頭十二指腸切除術



名古屋市立大学で行うロボット手術が完全網羅された書籍「名市大ロボット消化器外科手術のすべて」も大変好評を頂いております。

参加無料
現地開催
事前申込制

日本医師会
生涯教育制度
単位取得

お申し込み方法につきましては、期日が近づきましたら改めてご連絡いたします。ぜひ、ご予約ください。

桜山連携フォーラム

2024年6月22日（土）

16:00~18:30



名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟 3階 大ホール

■病院長挨拶・病院紹介 名古屋市立大学病院長 間瀬光人

■内視鏡下頭蓋底手術センター

「内視鏡アプローチによる低侵襲頭蓋内腫瘍摘出」

内視鏡下頭蓋底手術センター 副センター長 脳神経外科 講師:谷川元紀

■成人先天性心疾患センター

「先天性心疾患のシームレスな連携を目指した

成人先天性心疾患センターの設立」

成人先天性心疾患センター長 循環器内科 教授:瀬尾由広

■こころの発達診療研究センター

「神経発達症(発達障害)の地域医療連携

診療待ちゼロを目指して」

こころの発達医学 寄附講座教授:永井幸代

■膵疾患センター

「膵疾患センター新規開設:当院の膵疾患診療の現状と未来」

膵疾患センター副センター長 肝・膵臓内科 講師:吉田道弘

各診療科医師との
交流会 18時00分~



名古屋市立大学病院 地域医療連携センター